

# 聖和学園短期大学

Seiwa Gakuen College

## 教職員一丸となった教職協働で 地域に貢献できる人材を育成する

本学は、来年開学70年を迎えます。私は前職が公務員だったことと、東日本大震災での経験から、暮らしの「安全と安心」、人々の命を守ることに、地域交流・貢献活動の大切さを授業で教えています。

### 実学・実習をもとにした 実践的カリキュラム

本学には、キャリア開発総合学科と保育学科の2学科があります。キャリア開発総合学科は、全国でもめずらしい「地域総合科学科」であり、地域や学生のニーズにあ

った学校独自のカリキュラムを作れるのが特徴です。多岐に渡るカリキュラムは実学を重視し、キャリア開発総合学科だけで230科目、シラバスは530ページに及びます。

シラバスには各授業で身につく学習成果やどの段階でどういう勉強をすればいいか、そのための予習・復習の内容などを詳細に明記しています。学生には、学習成果をよく理解した上で、身につけてもらいたいことを、明確にしています。「学びの質も高めたい」と

いう教職員一丸となった思いがシラバスには、詰まっています。

保育学科は、実習など現場での経験が非常に大切です。2年間で多くを学ぶのは大変ですが、保育士や幼稚園教諭免許の取得はもちろん、実社会に出たときに即戦力となる質の高い専門職を養成していることから、宮城県内はもとより東北一帯の保育所や幼稚園から多く求人が来ています。

両学科で取得できる資格は、司書や介護福祉士、保育士や幼稚園教諭、製菓衛生師などの国家資格から上級情報処理士、メディカルクラーク<sup>®</sup>医科など約50種の民間資格まで支援。全学生が資格取得に意欲的です。特に公務員試験対策に力を入れており、学生の1割が公務員試験に合格しています。履歴書に書ける資格を持っていると自分の武器にもなります。そのため検定や対策講座などのサポートを教職協働で取り組んでいるのが、本学の教育の特徴です。



杜の都仙台の北西部、自然に恵まれた教育環境の中にある1988年に移転した南中山キャンパス。

### 正課内・外で地域とつながり 学びの場とする

もうひとつの特徴は、地域貢献活動です。両学科とも地域で開催されるイベントに積極的に参加しています。キャリア開発総合学科で代表的なのが「いずみ絆プロジェクト」支援事業です。地域活性のためのアイデアを出し合って、日頃学んでいる学科を生かしたスポーツ指導、介護予防体操、地産地消のお菓子作りなど、地域の方々とコミュニケーションをとりながら学生の学びにつながり地域との交流も盛んになっています。保育学科では、本学独自のプログラムの子育て支援カレッジ「てとて」ファミリーコンサートへの参加など、学生が地域の子どもたちと触れ合うことで発達の理解につながっています。これからも地域はもとより世界で活躍できる学生を育んでいきます。



鳴海 渉 学長

なるみ・わたる／1948年岩手県生まれ、1973年東北学院大学経済学部卒。2009年仙台市太白区長退職。2009年聖和学園採用、2011年聖和学園短期大学副学長、2013年より聖和学園短期大学学長。